

せたがよ通信

世田谷区宮坂2-21-1 1F
TEL:03-6796-3939
FAX:03-6796-3940
http://www.setagaya-kosodate.net/



2023

「地域を基盤とした子育て支援を目指して」

本年もせたがや子育てネットをどうぞよろしくお願い致します。

政府からの「伴走型相談支援と経済的支援」と「異次元の少子化対策」といった方針が打ち出され、ニュースが子ども関連でにぎわう年明けとなりました。昔は子ども・子育てに関するニュースがトップに上がることも珍しかったのですが、今は政治部・社会部・経済部が記事をまとめているような時代になりました。子ども・子育てがどまんなかの 이슈 であるならば、地域で活動している私たちがもっと力を発揮して「こっちだよ」って発信していくチャンスなのではないでしょうか。ひとりの、ひとつの活動のエネルギーは小さくとも、それをネットワークに変換して、子どもや子育て家庭が安心できる地域のための具体的な活動を展開していきたいと思っています。



代表理事
松田妙子

伴走型相談支援って？

1月から産前産後にそれぞれ5万円の現金やクーポンを配布。合計3回の面談を行い、自分にあった過ごし方や子どものと関わりをサポートしてもらえる制度です。子ども分野の枠組みが予防型に大きく舵をきっていきそうです。世田谷区では他の自治体に先駆けてアンケート調査を実施、この先7年間の方向性として「グランドビジョン」が示されました。今回特集する地域子育て支援コーディネーターも、「ニューボラチーム」に加わり、4法人6カ所でタッグを組んで網の目の細かい伴走を目指します。

出産・子育て応援交付金
令和4年度第2次補正予算：1,267億円、令和5年度予算案：370億円

1. 事業の目的

- 経済格差が拡大、地域づなが弱体化となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。
- このため、地方自治体の働き手により、妊娠前から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに応じた必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を実施し、経済的支援を一体的に実施する事業を支援する交付金を創設する。

2. 事業の内容

- 市町村が働き手と連携しながら、妊娠前・産前・産後・産後2年間の子育て支援に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や産後の育児相談等を行うことに基づき必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施するとともに、妊娠前・産前・産後2年間の子育て支援に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や産後の育児相談等を行うことに基づき必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施する。

妊婦時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援のイメージ

【妊婦時】子育て支援相談センター（産前産後）
【産前産後】子育て支援相談センター（産前産後）
【産後】子育て支援相談センター（産前産後）

※ 継続的に実施
※ 母子で相談に応じ、必要な支援メニューにつなぐ

【妊婦時】（5万円相当）
【産前産後】（5万円相当）
【産後】（5万円相当）

【妊婦時】（5万円相当）
【産前産後】（5万円相当）
【産後】（5万円相当）

※ 妊婦時・産前産後・産後2年間の子育て支援に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や産後の育児相談等を行うことに基づき必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施する。

※ 妊婦時・産前産後・産後2年間の子育て支援に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や産後の育児相談等を行うことに基づき必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施する。

厚生労働省ホームページより

誰かとながって子育てする

大切なことは子育て家庭が地域に開かれていること。当事者の声からうまれた小さなサポートや活動にたどり着いたら安心です。せたがや子育てネットに皆さんの活動情報をお寄せください。おつながり出来たらと思います。

<10~12月:せたがや子育てネットの動き>

- ・ 赤ちゃんとのふれあい体験事業（緑丘・上祖師谷・深沢・奥沢・芦花・東深沢中）
- ・ ぶりっじ@roka×UR 秋まつり開催(10/22)
- ・ 子どもの権利を考えるティーンエイジ会議(10/23)
- ・ 「地域インターナショナルシップ世田谷」報告会(10/30)
- ・ 里親委託家庭演習担当(10月)
- ・ 防災アクション@たま電力フェ参加(11/5)
- ・ 子どもの権利に関するシンポジウム@北沢タウンホール(11/5 松田登壇)
- ・ せたがや自治政策研究所区民公開セミナー(11/26 松田登壇)
- ・ 第14回せたがや福祉区民学会で事例発表(12/3)
- ・ おりーぶ『NICUっ子の会』特別開催～支援者の学びの集い～(12/8)
- ・ 第3回区民版子ども・子育て会議【伴走型支援ってどんなこと？行政と地域が一緒になってできること】オンライン開催(12/9)
- ・ 保育サポーター養成講座9-12月期終了
- ・ 社協研修(12月)
- ・ 代表松田、講談社のwebメディア取材およびベネッセ教育総合研究所より取材受ける(12月)

地域子育て支援コーディネーターが活躍中です！



利用者支援事業とは…

平成27年子ども・子育て支援新制度のスタートに伴い、世田谷区では各地域1カ所のおでかけひろばと中間支援センターに計6カ所、「利用者支援事業基本型」である「地域子育て支援コーディネーター」が配置されました。

初めての子育てはわからないことだらけ、どこに相談すればいいのかもわからない人が多いのでは？ 困ったときは「世田谷区地域子育て支援コーディネーター」にご相談ください。あなたの「困った」を一緒に考えて、適切な関係機関とあなたをつなぐお手伝いや子育てサービスなどの情報提供をしています。

対象者は、世田谷区内在住か世田谷区に引越し予定の、妊娠中の方、および子ども(主に乳幼児)のいる保護者等の方です。世田谷区地域子育て支援コーディネーターは、電話やメールで、またひろば内では対面で相談をお受けできます。コーディネーターたちは区内おでかけひろばや

児童館、公園など様々な場所に出張したり、必要に応じて利用者さんに同行することができます。携帯電話やメールで相談できるというところが大事なポイント！ どんどん外に出かけていって、保護者の身近な場で心配事に寄り添えるよう、日々奔走しています。

「ここに相談してみるといいよ」と紹介してくださる方も増えました。顔見知りの方の紹介からは安心してつながってくださいます。ぜひおつなぎください。

今回は、世田谷区地域子育て支援コーディネーターの6拠点をご紹介します。各地域の人や場の特徴を活かして、地域の親子とふれあえる居場所づくりにも力を入れています。

来年度からは伴走型相談支援事業も展開し、ますます広がるコーディネーターの可能性にご期待ください！



〈全地域の窓口〉

拠点: 中間支援センター



〈世田谷地域〉

拠点: 古民家mamas@世田谷一丁目



経堂地区の社協や児童館、おでかけひろば、子ども食堂などが集まり、乳幼児親子が楽しめて、ちょっとほっとできる居場所を作りたいねと、小田急線経堂駅前にある「経堂コルティ」の屋上庭園で「こども天国」という外あそびイベントを開催しました。10年に一度の大寒波の中、何人来るかしら…と心配しましたが、まさかの250人近い参加者に！親子で出かけ、交流できる場が求められていると実感しました。地元のゆるいイベントとして知られるようにこれからも定期的に続けていきたいです。

個別の相談だけでなく、地域の中に資源をつくります！

〈北沢地域〉

拠点:おでかけひろば@あみーご



北沢地域と烏山・世田谷・砧地域の境目で情報が届きにくい桜上水エリアにある「むつみ会館(桜上水5丁目自治会)」8月に1回出張しています。広々としたスペースで歩き始めた子どもたちもたっぷり遊べます。子どもを遊ばせながら相談ができる場所です。



〈玉川地域〉

拠点:おでかけひろば まーぐる



玉川野毛町公園拡張計画会議に参加し、子育て支援者として地域の声を公園づくりに届けています。拡張予定地でのオープンデーのイベント企画に関わり、当日は出張相談も行っています。また、尾山台商店街のコミュニティカフェ「タタタハウス」より子育てサロン設立について相談を受け、地域住民と協力して子育てサロンを3回開催できました。どちらも子育て支援施設のない空白地帯だったため、新たな親子と出会える場となっています。



〈砧地域〉

拠点:きぬたまの家



成育医療センター前のセブンイレブン横の道を入ると、老人福祉施設「愛の園」があります。こちらの地域交流スペースにて毎週金曜日に親子で遊べる「こだぬきひろば」を開催しています。

砧地区には常設の「おでかけひろば」がなく、場所を探していたところ「愛の園」と出会いました。交流スペースの担当者の方をはじめ、施設スタッフや利用者のお年寄りもとても親切で、時々覗きに来てくれます。

パンの出張販売が来たり、テラスでお昼ご飯も食べられたり、憩いの場として知られてきています♪

〈烏山地域〉

拠点:おでかけひろば ぶりっじ@roka



親子が集えるスポット「かみきたFive」がスタート。きっかけは児童館でのある親子との会話でした。おとなりの杉並区からも参加があり、好きな時間に来て子どもと遊んだり話したり、ゆっくりと過ごしています。参加者と一緒に作る『居場所』となれるよう試行錯誤しています。

～理事のご紹介～



上田英司さん(日本NPOセンター 事務局次長)

世田谷のとなり、狛江市に住んで7年になります。引っ越しのきっかけは3人の子どもたちを自主保育で育てたいという理由からでした。

狛江の自主保育グループは、保護者が当番で子どもたちをみています。保育の時間だけに限らず、体調を崩したら子どもたちを預かってもらうなど、困ったときには、いつも助けられています。

我が家が助けられたように、人と人が支え合うコミュニティをつくっている「せたがや子育てネット」のお手伝いが少しでもできればと思い、監事を務めています。どうぞ宜しくお願いします。



西郷泰之さん(子ども家庭福祉研究・研修機構 機構長)

子どもは4人、孫はまもなく9人になります。現在、神奈川県在住なので、頻繁に子どもや孫に会えないのが悩みです。

これまで、国や都縣市の子ども・子育て会議の委員長や、子ども家庭福祉関係の検討委員などを担当してきました。最近では世田谷区の学童クラブの運営方針の検討委員会の委員長を務めました。3年前に定年を迎え、現在は仕事を少し抑え気味にして老活を始めています。

今後は、専門職同士の「多職種連携・協働」ではなく、ボランティアや住民も含めた「コラボレイティブ・プラクティス(協働)」について、研究や研修を担っていきたいと思っています。先日は、神奈川県の児童相談所の研修会で協働の講師をしてきましたよ！



『せたがや子育てライフ』から、世田谷の子育て情報発信中！！！！

世田谷区で子育てするすべての方に向けて、地域子育て情報を『せたがや子育てライフ』のInstagramで発信しています。地域の方からの情報掲載も承っています。おでかけ先、週末の地域イベント、保護者向けの講座情報などなど、ぜひお役立てください♡



せたがや子育てネットの会員になって、世田谷での子育てを一緒に考えませんか？

子どもの名前をたくさん知っている大人や、ちょっとしたことでも地域に関心や役割を持つ人が増えると、子どもを通じて街が豊かになります。会員として、地域の子育てを一緒に考えてみませんか？

正会員 : 入会金なし、年会費 3,000円(個人)10,000円(法人)
賛助会員 : 入会金なし、年会費 3,000円(個人) 10,000円(法人)



【編集後記】

冬号は、世田谷区地域子育て支援コーディネーターを特集させていただきました。せたがや子育てネットは区内のNPO団体とも連携して様々な活動をしています。これからも世田谷の子育て環境を豊かにしていきたいです。(X)